



10

2026 October
No.817



今月の表紙

今年の学校祭のテーマは「光」。9年生の佐藤緑さんが考案したテーマで、「劇に出演する人だけではなく、裏で支えてくれている人にも光が当たり、みんなで楽しい学校祭にしたい」という思いが込められています。一人ひとりが「光」輝く学校祭となりました。

☎役場などの電話番号

比布町役場 (代表) ……	85-2111
総務企画課 総務室 ……	85-4801
総合政策室 ……	85-4802
税務住民課 ……	85-4803
保健福祉課 ……	85-4804
地域包括支援センター ……	85-2112
保健センター ……	85-2555
ぴぴたく号 ……	85-4800
農林課 ……	85-4805
商工観光課 ……	85-4806
グリーンパークぴっぷ ……	85-2383
遊湯ぴっぷ ……	85-4700
建設課 ……	85-4807
議会事務局 ……	85-4808
農業委員会 ……	85-4809
教育委員会 ……	85-2262
図書館 ……	85-3354
体育館・改善センター ……	85-2513

市外局番 (0166)

目次 CONTENTS

- 3 ピップスター
上田星さん
- 4 特集「蘭留小学校廃校活用」
- 8 協力隊通信
- 9 今月のまちからのお知らせ
教育委員会・社会福祉協議会事務所移転のお知らせ／令和8年分の年末調整について／ヴォレアス北海道10周年記念町民無料招待ツアー／防災行政無線・不要な戸別受信機を回収します／まちづくり懇談会に参加しませんか／令和8年度町民文化祭開催／除雪サービスと門口除雪サービス
- 12 情報満載
ねんきんワンポイント／北海道最低賃金／里親制度／求人募集 ほか
- 15 子育て・教育
コミュニティスクール通信／塩糰^{こうじ}作り／ぶっくんノート／こどものひろば
- 17 健康・福祉
地域包括支援センターは高齢者の相談窓口です／ホケセンだより／きたよん通信 ほか
- 20 行政報告
第3回町議会定例会
- 22 みんながヒーロー＆ヒロイン
- 23 まちある・記・フォトニュース

わが家のアイドル

田邊 怜依^{れい}さん

誠さん・未来さんの長女
(3歳11か月・西町)



お世話が好きで自分のことはいつも後回し～♪パウパトが大好きで、体を動かすことや声を出すことが得意です。困ったときはいつでも私を呼んでね☆

皆様のご家庭のアイドルを広報ぴっぷで紹介しませんか？

最近の写真とコメントを添えて、総務企画課 まち発信係にお寄せください！

☑koho@town.pippu.hokkaido.jp または プリントした写真でもOK！

お知らせ

子育て・教育

健康・福祉

さまざまな分野で活躍する子どもたちを紹介します。



※掲載情報は9月24日現在です。

おめでとう

全国道場少年剣道選手権大会出場

#057 Sei Ueda

上田 星 さん

比布中央学校 6年生

—— 広報ぴっぷ 2026年4月号で紹介

比布中央学校6年生の上田星さんは6月14日、苫小牧市で開催された、「第50回記念北海道道場少年剣道大会」小学生女子の部に出場し、全道各地から選抜された75人の選手の頂点に輝き、全国大会への出場を決めました。全道大会での優勝は、比布町剣道スポーツ少年団にとって、初めての快挙となります。

「最も印象に残っているのは準決勝。一番良い試合ができた」と振り返る上田さん。相手に一本も取られないこともなく、自分から有効打突（一本）を二本先取する「二本勝ち」で決勝戦に進出しました。決勝は延長戦にもつれ込む接戦となりましたが、最後は得意の小手で勝負を決めました。優勝が決まった瞬間は「あまり信じられなくて、実感がなかった」と話します。

上田さんが試合で大切にしているのは、「気持ちで負けないこと」。指導する先生も「かなりの負けず嫌」と評します。8月2日に札幌市で開催された、「第68回赤胴少年剣道錬成大会」では、全道各地区の予選を勝ち上がった小学生162名の代表選手が出場する個人戦で3位入賞。先に一本を取られても、そこから取り返そうと勝負に向かう気持ちの強さが上田さんの持ち味です。

得意技は、相手が打ってくるところを狙う小手。決勝でもその小手が勝利につながりました。最近はその練習にも力を入れており、「面も得意になってきた」と成長を感じています。

剣道を始めたのは1年生の時。友達が習っていたことをきっかけに「自分もやってみたい」と始め、稽古を重ねながら力を伸ばしてきました。

指導者が課題として挙げるのが初戦の入り方。緊張から動きが固くなることがあり、普段通りの力を最初から出すことを意識しているとのこと。

10月25日に岩手県花巻市で開催される全国道場少年剣道選手権大会第43回小学生女子の部。個人での出場は初めてです。

「緊張するけど、しっかりと自分の剣道をして、なるべく上位を目指して頑張りたい」と上田さん。目標は3勝以上、そして上位入賞。得意の小手と持ち前の気持ちの強さを武器に、北海道の代表として全国大会に挑みます。

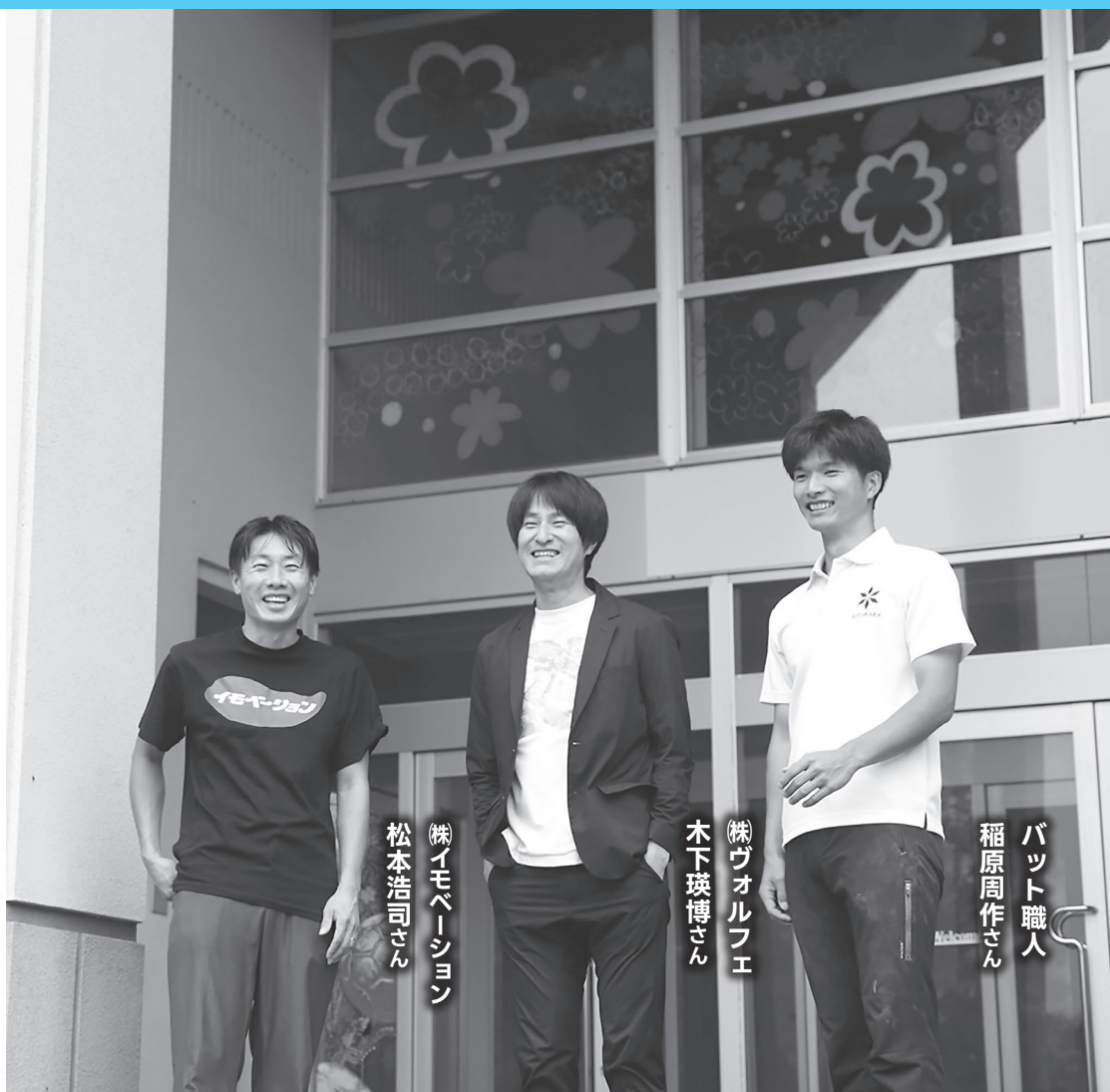


6月14日(左) 表彰の様子

(右) 第50回記念北海道道場少年剣道大会の様子

旧蘭留小学校のいま

旧蘭留小学校に集まった三つの挑戦



(株)イモベーション
松本浩司さん

(株)ヴォルフェ
木下瑛博さん

バット職人
稲原周作さん

蘭留小学校の閉校

かつて多くの子どもたちが学び、地域の人々に親しまれてきた蘭留小学校。児童数が最も多かった昭和33年には、221人が在籍していました。過疎化や児童数の減少を背景に、PTAや地域住民の理解を得て、中央小学校との統合による閉校が決められました。平成21年3月15日行われた閉校式には、児童や地域住民、来賓ら約270人が参加。同月31日、地域の子どもの学びを支えてきた同校は閉校しました。



平成21年3月15日蘭留小学校閉校記念式典

蘭留小学校の今

それから年月を重ねた今、卒業生や地域の人の思い出の残る校舎では、分野の異なる三つの挑戦が進んでいます。女子フットサルチームを通じて地域づくりに取り組む(株)ヴォルフェ木下さん、サツマイモの加工を行う(株)イモベーション松本さん、木製バットをつくる稲原さん。かつての教室や調理室、体育館を活用し、それぞれの活動に取り組んでいます。

子どもたちが学んだ場所から、新たなもののづくりや人とのつながりが生まれています。校舎を活用する三者の想いと活動を通して、旧蘭留小学校のいまを紹介します。



(株)ヴォルフェ 木下瑛博さん



練習の様子



女子フットサルチーム「ヴォルフェ北海道」の選手達

学び舎から、世界一を目指す

スポーツの力で、 まちと人の可能性を開く

旧蘭留小学校を拠点に活動する株式会社ヴォルフェ。運営する女子フットサルクラブ「ヴォルフェ北海道」は、競技力の向上だけでなく、スポーツを通じて地域活性化や社会課題の解決を目指しています。

代表の木下さんが女子フットサルを選んだ背景には、女子スポーツを取り巻く環境への問題意識があります。サッカーでは小学生まで、男女一緒に競技ができて、中学生になると女子が競技を続けられる場所は少なくなりますが、特に人口減少が進む地域では、11人をそろえることも簡単ではありません。一方、5人制のフットサルは少人数で試合ができ、屋内競技のため、雪の多い地域でも年間を通して続けやすいという強みがあります。

旧蘭留小学校の体育館は公式コートより狭いものの、決まった場所で継続して練習できる大切な拠点です。「いつでも活動できる場所があることは、とても恵まれている」と木下さん。現在は登録選手13人が所属し、主に日曜日に練習を重ねています。ヴォルフェが掲げる使命は、

「スポーツの力で、あらゆる人々の可能性を開く」こと。選手だけでなく、チームや地域に関わる人が「自分にも何かできるかもしれない」と、一歩を踏み出すきっかけをつくらうとしています。その思いを形にしたのが、令和6年に開催した「らんるまつり」です。スポーツとアートを組み合わせ、地域の人たちの協力を得ながら、多くの人が集う機会をつくりました。

また、フットサルを身近に楽しんでもらおうと、旧蘭留小学校で「フットサルサークル」も開催しています。初心者歓迎で、年齢や性別を問わず、月1回程度活動。参加費は300円。開催日はLINEオープンチャットで案内しています。

「世界一のフットサルクラブを比布につくりたい」と語る木下さん。それは競技成績だけではなく、関わる人の可能性を広げ、まちに新しい動きを生み出すクラブになること。かつての学び舎から、スポーツを起点とした新たな挑戦が始まっています。

▼ LINE
QR コード



学び舎からつながる、生産者と消費者

サツマイモで地域農業 の価値を高める

(株)イモベーション 松本浩司さん



旧蘭留小学校の調理室を加工場として活用している(株)イモベーション。比布町を含む上川管内で生産されたサツマイモを使い、干し芋や燻製干し芋などの加工品を製造しています。

調理室では、サツマイモを蒸し、乾燥させ、燻製し、包装するまでの一連の工程を行っています。さらに、2階の教室内に断熱材を使って新たな部屋を設け、サツマイモの貯蔵庫を整備。試行錯誤を重ねながら、一年を通して適切な温度と湿度を保てる環境をつくり上げました。

代表の松本浩司さんは、新聞記者として10年間勤務した後、平成30年に家族で旭川市へ移住。ゲストハウスを営む傍ら、ライターとして道北各地取材してきました。地域活動や取材を通じて感じたのは、農業が地域の基幹産業でありながら、生産者と消費者の接点が少ないことでした。地域の魅力を伝えるだけでなく、自ら当事者となって新しい価値を生み出したいと考え、サツマイモの加工事業に踏み出しました。

商品づくりには、地域資源を生かす工夫もあります。「燻製干

芋」は、上川管内産のサツマイモを、旭川家具の製造過程で生まれる木材の端材で燻製した商品です。地域の資源を掛け合わせることで、干し芋の甘さに香ばしさを加えた、新しい味わいを生み出しています。

事業をゼロから始めるには、設備や建物への大きな投資が必要です。(株)ヴォルフエの木下さんから校舎を紹介され、町や商工会などから支援を受けられたことが、挑戦を始める大きな後押しとなりました。

現在は夫婦2人を中心に製造していますが、今後は生産量を増やし、地域の人にも加工を手伝ってもらえる体制を目指しています。短時間でも作業に加わる人が増えることで、新たな仕事と地域のつながりを生み出すとしています。

松本さんにとって旧蘭留小学校は、「背伸びをせず、心地よく、やりたいことを形にできる場所」。完成された食品加工施設ではないからこそ、試し、工夫し、再び挑戦できる余地があります。かつての学び舎は今、新しい事業と地域の可能性を育む場所へと生まれ変わっています。

KITAKARA 稲原周作さん



学び舎から生まれる、 世界に一つだけのバット バットで比布の名を 世界に広める

広報びっぶ8月号では、稲原周作さんのバットづくりへの思いや製作工程を紹介しました。その工房があるのが、旧蘭留小学校です。稲原さんは教室を活用し、木材を削るところから塗装、仕上げ、発送までを一貫して行っています。

初めて訪れたときは、「廃校」という言葉から古びた建物を想像していました。しかし、目の前にあったのは、木を基調としたきれいな校舎。周囲の自然と調和する姿に、「物語にでてる学校みたいでいいな」と感じたと話します。

静かな環境は、ものづくりに集中できる工房として大きな魅力です。窓の外には野鳥が訪れ、ときには動物の姿も見られます。工房には、かつてこの学校で働いていた人や、思い出を持つ人が訪れることもあります。「使われなければ、建物も思い出も

少しずつ風化してしまう。大切にに使われてきた学校で仕事ができることは感慨深い」と稲原さん。教室に響いていた子どもたちの声に代わり、今は木を削る音が響いています。

今後は自身のバットブランド「KITAKARA」の認知度を高め、ふるさと納税などを通じて、比布町の名前を町外へ届けることを目指します。かつての学び舎で生まれた一本のバットが、比布町を知るきっかけになるうとしていきます。

三つの挑戦がひらく、旧蘭留小学校のこれから

調理室からはサツマイモの香りが漂い、体育館では選手たちがボールを追い、教室では木を削る音が響く。旧蘭留小学校では今、食品加工、女子フットサル、木製バットづくりという、分野の異なる三つの挑戦が進んでいます。

取り組む内容は違っても、三者に共通しているのは、この場所を生かしながら、地域に新しい価値を生み出したいという思いです。使われていなかった教室や設備を工房や加工場に変え、体育館を継続して活動できる拠

点にする。それぞれが校舎の特徴を受け入れ、工夫を重ねながら、自分たちの活動を形にしてみました。

同じ校舎で活動することで、緩やかなつながりも生まれています。令和6年開催のらんるまつりでは、スポーツやアート、農産物、ものづくりが一つの場所に集まりました。バットづくりで生まれる木の端材を燻製に活用できないかといった、分野を越えたアイデアも交わされています。まだ小さな動きですが、異なる人や技術が出会うことで、新しい可能性が広がっています。

商品を手取ることに、試合を応援すること、フットサルサークルやイベントに参加すること。町民の皆さんの関わりも、挑戦を支える力になります。そして、そのつながりが増えるほど、校舎は地域にとって、より身近な場所になっていきます。

学校としての役目を終えた後も、学び舎に刻まれた思い出は受け継がれています。かつて子どもたちの可能性を育んだ学び舎は今、人と仕事、新しい価値を育てる場所へ。三者の活動を通して、再び人がつどい、新たなつながりが生まれています。

比布町地域おこし協力隊通信

比布町で活動する地域おこし協力隊の皆さんを紹介します。

協力隊特集 VOL.5・6

インドネシア・ベトナムから
シンタ・ヌルディアナさん
ラム・カイ・ハンさん

あそか苑で活躍する2人の
地域おこし協力隊



シンタ・ヌルディアナさん



ラム・カイ・ハンさん



特別養護老人ホーム「あそか苑」では、外国人の地域おこし協力隊が介護の現場で活躍しています。インドネシア出身のシンタさんと、ベトナム出身のラムさん。生まれ育った国を離れ、日本、そして比布町で働く2人に、仕事のことや町での暮らしについて聞きました。

利用者とのつながりが仕事の励みに シンタさん

インドネシア出身のシンタさんは、日本に来て約5年。旭川近郊の福祉専門学校で介護を学んだ後、地域おこし協力隊としてあそか苑で働き始め、今年で3年目を迎えました。

仕事でうれしいのは、利用者とのつながりを感じら

れた時。「顔を見ると安心する」と声を掛けてもらったこともあり、自分を信頼してもらえることが励みになっています。明るい性格と聞き取りやすい大きな声はシンタさんの魅力の一つです。

比布町については「鉄道もバスもあり、住みやすい」と笑顔。盆踊りなどの地域行事にも参加し、町で出会った人たちの優しさを感じながら暮らしています。好きな日本食はたこ焼き、刺身、納豆。休日には札幌や小樽、函館へ旅行することもあります。

「今まで出会った皆さんが優しくしてくれて感謝しています」。町で見掛けた時には、ぜひ気軽に声を掛けてください。

一つずつ経験を重ねながらラムさん

ベトナム出身のラムさんは、令和4年に来日。今年4月から地域おこし協力隊としてあそか苑で働いています。

来たばかりの頃は、入浴

介助など体力を使う仕事に慣れず、仕事が終わると疲れを感じる日も多かったそうです。それでも、一つずつ仕事を覚え、今では任せてもらえる業務も増えてきました。利用者の言葉を聞き取れない時にはもう一度尋ね、それでも難しい時は周囲の職員に確認するなど、コミュニケーションを大切にしています。

日本で感じた文化の違いは、仕事のスピードや街中のゴミ箱の少なさ。北海道の雪にも最初は驚きましたが、少しずつ生活にも慣れてきました。

料理が好きで、普段はベトナム料理を中心に自炊。日本料理ではカレーライスや豚の生姜焼きにも挑戦しています。冬には友人とぴつぷスキー場でスキーをするのも楽しみにしているそうです。

高校生の頃から「日本で働きたい」と思っていたラムさん。周囲に支えられながら、比布町で新たな一歩を踏み出しています。





今月の

まちからのお知らせ

医療制度・補助事業・税情報など、町から特にお伝えしたい大切な情報です。

問＝問い合わせ先 ☎＝電話番号 ※各課の電話番号は2ページに掲載

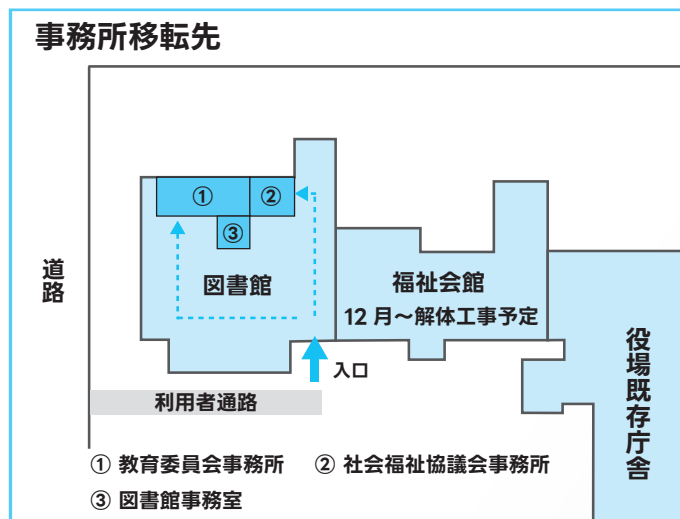
01

教育委員会・社会福祉協議会 事務所移転のお知らせ

問 教育委員会教育課

町複合庁舎建設に向けた
福祉会館の解体工事に伴
い、現在、福祉会館内にあ
る教育委員会と社会福祉協
議会の事務所を比布町図書
館内へ移転します。
※詳細は左図を参照

スケジュール予定
・10月30日(金)まで
福祉会館で通常通り業務
・11月1日(日)～3日(火)
事務所移転作業
・11月4日(水)
図書館で業務開始



電話番号について

移転後も電話番号は変わりません。

●教育委員会 ☎ 85-2262 (変更なし) ●社会福祉協議会 ☎ 85-2943 (変更なし)

※各事務所へ電話がつかない場合は図書館までご連絡ください。

●図書館 ☎ 85-3354

※解体工事開始には、図書館・福祉会館利用者駐車場はご利用いただけなくなる
予定です。代替駐車場の場所などは、広報ぴっぴ 11月号でお知らせします

03

ヴォレアス北海道10周年記念 町民無料招待デーについて

ヴォレアス北海道の10周年を記念し、ホームゲームに町民40名を無料招待します。今年は1階エンド席から迫力あるプレーを間近で楽しめます。無料送迎バスを運行し、参加者全員にヴォレアスのノベルティグッズをプレゼントします。ご家族や友人と一緒に、会場で声援を送りませんか？

日時 11月7日(土)午後1時5分試合開始

場所 リクルートスタッフィングリック
& スー旭川体育館

対戦 FRAGOLAD KAGOSHIMA

対象・定員 町民40名

締切 定員になり次第締切



申込フォーム

問 総務企画課 総合政策室 政策係

02

令和8年分の 年末調整について

令和8年分の年末調整に関する情報や各種様式、パンフレット(「年末調整のしかた」「給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引き」「源泉徴収税額表」など)は、国税庁ホームページ「年末調整がよくわかるページ」に掲載されています。年末調整を行う方は、ぜひご確認ください。



国税庁 HP

問・税務住民課 税務住民室 税務係
・旭川東税務署 ☎ 23-6291

04 防災行政無線・ 不要な戸別受信機を回収します

町では、防災行政無線と同じ内容を「比布町公式LINE」でも配信しています。放送内容を文字で確認できるため、外出先でも安心です。今回、音声放送が不要な世帯を対象に、戸別受信機の回収を行います。「LINEで十分」と感じているご家庭は、この機会にご返却ください。



●回収の対象になる世帯

- ・放送を音声で聞く必要のない世帯
- ・比布町公式LINEを登録済みの方がいる世帯

※音声で聞きたい方やスマホをお持ちでない方のいる世帯は引き続き戸別受信機を利用していただきます。

●回収方法

ご家庭で戸別受信機を取り外し、乾電池を抜いた本体と電源コードを、総務企画課 まち発信係へお持ちください。取り外すことが難しい場合は回収に伺いますので、まち発信係へご連絡ください。

また、比布町公式LINEに「すぐメール plus +」の追加をお願いします（無料）。これにより、Jアラートなどの緊急情報がLINEで受け取ることができます。引き続き戸別受信機を利用される世帯も、ぜひご登録をお願いします。

「すぐメール plus +」登録の流れ

1. 比布町公式LINEを開く

トーク画面で「あ」など、何か文字を入力してください。



2. 返信メッセージを受け取る

町公式LINE

メッセージと一緒に「すぐメール plus +」登録フォームへのリンクが届きます。

3. リンク先で手続きをする

- ①利用規約に「同意する」を選択。
- ②「防災行政情報」にチェックを入れる。
- ③「確認画面へ」→「登録」を選択。

4. 登録完了！

登録方法は役場でご案内しますので、操作に不安がある方は安心してお越しください。

06 令和8年度 町民文化祭開催

作品展示

日時 10月30日(金)～
11月1日(日)
午前9時～午後8時
(2日は午後3時まで)

場所 町体育館



芸能発表

日時 11月1日(日)
午前10時～
午後3時(予定)

場所 農村環境改善センター
多目的ホール



ご来場をお待ちしています

問 町民文化祭実行委員会事務局
(教育委員会教育課生涯学習推進室
文化振興係)

05 まちづくり懇談会に 参加しませんか

皆さんが日ごろ感じている町政へのご要望などをお伺いし、まちづくりについて説明や意見交換を行うため、今年も「まちづくり懇談会」を開催します。円滑な運営のため、あらかじめ各行政区長に要望事項を取りまとめていただいています。事前申し込みは不要ですので、ぜひご参加ください。

月 日	時 間	会 場	対象行政区
11月5日 (木)	午前 9時～ 午前 11時 30分	公民館南分館	1～3区
	午後 1時 30分～ 午後 4時	東園地域センター	12～19区
	午後 6時～ 午後 8時 30分	役場2階 会議室	市街地区
11月6日 (金)	午前 9時～ 午前 11時 30分	役場2階 会議室	4～11・ 26区
	午後 1時 30分～ 午後 4時	蘭留地域センター	20～25・ 蘭留町区

問 総務企画課 総合政策室 政策係

除雪サービスと 門口除雪サービス

問 保健福祉課 社会福祉室 福祉係

高齢者などの除雪をサポートします

町では、**自力での除雪が難しい高齢者世帯**などを対象に、2つの除雪サービスを実施します。

利用を希望する方は保健福祉課 福祉係へ申し込みください。

※昨年度と変更になっている部分があります。

①除雪サービス

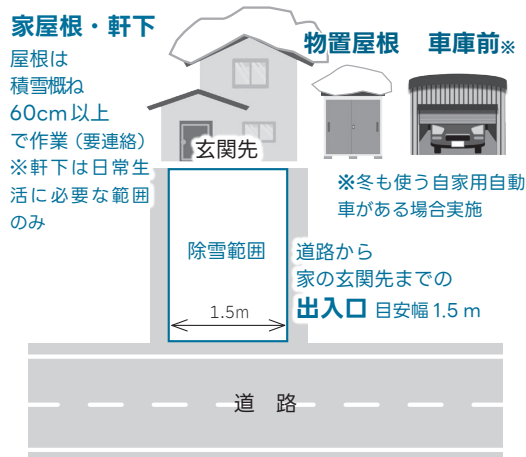
内容 出入口・車庫前・家屋根・物置屋根・軒下の除雪。

対象世帯 自力での除雪が難しい世帯で、次の①～④に該当する世帯。

- ① 75 歳以上の単身世帯
 - ② 75 歳以上の夫婦世帯
 - ③ 障がい者のみ (※1) の世帯
 - ④ 介護認定 (要介護 1 以上) を受けている単身世帯、または夫婦世帯
- (※1) 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方

対象とならない世帯 冬期間居住していない世帯など

利用料 ①出入口 1 回 200 円 (30 分以内 1 回 100 円)
 ②車庫前 (冬期間も使用する自家用自動車が格納されているもの) 1 回 100 円
 ③家屋根・物置屋根・軒下 (日常生活に必要な範囲のみ) 1 回 2,500 円 (年度中 2 回まで)
 ※生活保護受給世帯は利用料免除



〈除雪サービス変更点〉

- ・ サービス決定までに社会福祉協議会職員が申請者宅を訪問し、除雪実施箇所の現地確認と図面 (アセスメントシート) を作成します。
- ・ 除雪作業員の不足に伴い、積雪状況により作業までにお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。



②門口除雪サービス

内容 道路の除雪が入った後に残された雪のかたまりの除雪。

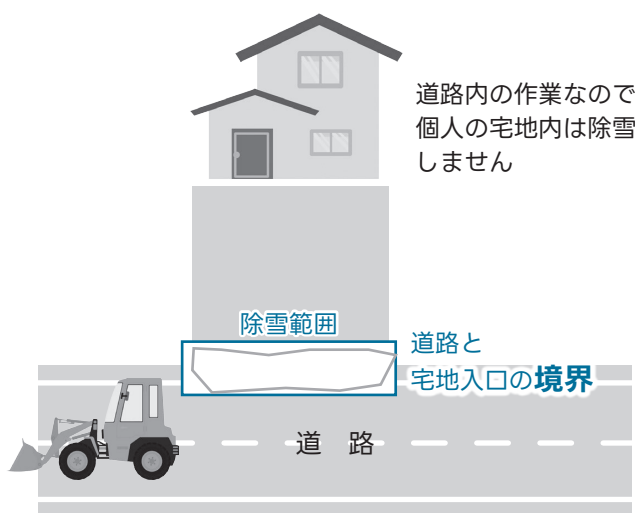
対象世帯 自力で除雪が難しい世帯で、次の①～⑤に該当する世帯。

- ① 75 歳以上の単身世帯
 - ② 75 歳以上の夫婦世帯
 - ③ 障がい者 (※2) の単身世帯
 - ④ 障がい者のみの世帯
 - ⑤ 障がい者と同居者が 75 歳以上の世帯
- (※2) 身体障害者手帳 1 種 1・2 級、療育手帳 A 判定、精神障害者保健福祉手帳 1 級のいずれかをお持ちの方

対象とならない世帯

- 町営住宅・民間集合住宅・介護施設などに入居している世帯
- 冬期間居住していない世帯

利用料 無料



全町一斉の除雪サービスのため、すぐに作業できるものではありません。状況により時間帯が変わりますので、あらかじめご承知ください。

情報満載

暮らしに役立つ情報を掲載します。

マークの見方

日=日時 所=会場
 対=対象 定=定員
 内=内容 ￥=料金
 申=申し込み先
 問=問い合わせ先
 ☎=電話番号
 FAX=FAX番号
 ✉=メールアドレス

募集

農産加工室 11 月利用分
申込み受付

11 月 1 日から 30 日までの間に
 農村環境改善センター農産加工室
 の利用を希望する方は、5 人以上
 のグループで、加工品目と数量を
 まとめてお申し込みください。

申込締切 10 月 13 日(火)

抽選会 10 月 19 日(月)午前 9 時 30
 分から

所 福祉会館第 2 研修室

申 問 役場農林課 農林業振興室

農政係

交通事故相談所を
設置しています

北海道では、交通事故相談所を
 設置し、専門の相談員が無料で相
 談に応じています。

▼定期巡回相談（事前予約制）

日 10 月 28 日(水)午後 1 時～ 4 時

※毎月 1 回開催。相談 1 件当たり
 の所要時間は約 1 時間（相談内容
 や予約状況によって異なります）。

所 上川総合振興局交通事故相談所

申込締切 10 月 21 日(水)正午

申 問 上川総合振興局 環境生活課

☎ 46-5923

農業委員会だより

次の議案が審議され、承認され
 ました。

▼第 1 回総会（7 月 30 日開催）

◎農用地利用集積等促進計画(案)
 の要請 6 件 181,528.00 m²

▼第 2 回総会（8 月 25 日開催）

◎農用地利用集積等促進計画(案)
 の要請 5 件 88,333.04 m²

◎土地の現況証明書の交付

2 件 1,920.00 m²

問 農業委員会事務局

旭川地方気象台から

▼地震災害に備える

地震による災害は「強い揺れ」
 「津波」「火災」が拡大要因です。

気象庁は、強い揺れを知らせる「緊急地震速報」や津波の危険
 を伝える「津波警報」を発表して
 いますが、速報や警報が間に合わないこともあります。海の近くで
 揺れを感じたら警報を待たず避難
 し、停電復旧後の通電火災を防ぐ
 ため避難時はブレーカーを切りま
 しょう。

また、家具の固定や耐震補強、
 非常持ち出し品・避難経路の確認、
 家族やご近所の方との連絡方法な
 ど、日頃から少しずつ備えること
 が大切です。

問 旭川地方気象台 ☎ 32-7102

ボランティア活動を
表彰します

町では、多年にわたりボラン
 ティア活動などを行っている町民
 の皆さんを、町表彰条例に基づき
 表彰しています。皆さんの周りに
 次の基準に該当するような方が居
 ましたら、自薦他薦問わずお知らせ
 ください。なお、表彰には一定
 の基準がありますので、詳しくは
 お問い合わせください。

▼表彰の基準

美化活動やボランティア活動を
 20 年以上継続している町民。お
 おむね 10 年程度の活動を続けて
 いる方には感謝状を授与します。

申込締切 10 月 23 日(金)

問 役場総務企画課 総務室 総務係

募集

自衛官候補生を
募集します

▼自衛官候補生

受験資格 日本国籍を有し、採用
 予定月の 1 日現在、18 歳以上 33
 歳未満の男女

受付期間 随時受付中

試験日 11 月 28 日(土)～ 12 月 6 日
 (日)のいずれか一日

試験会場 陸上自衛隊旭川駐屯地

問 自衛隊旭川地方協力本部

旭川地区隊 ☎ 55-0100

旭川中央警察署から

▼知っていますか # 8080

運転に不安を感じるようになった
 方やそのご家族のために、運転
 免許証の返納相談や運転に関する
 相談窓口を設けています。

警察相談ダイヤル # 8080 で不
 安を相談してみませんか。

問 旭川中央警察署 ☎ 25-0110

ねんきんワンポイント

問 役場税務住民課 税務住民室 戸籍年金係
旭川年金事務所 ☎ 25-5606

3つの基礎年金が あなたの一生をサポート

①老齢基礎年金 — 65歳になったとき

20歳から60歳になるまでの40年間、全期間保険料を納めた方は65歳から満額の老齢基礎年金が支給されます。

②障害基礎年金 — 病気やけがで障害が残ったとき

国民年金加入期間中の病気やけがで、障害等級表の1級・2級による障害状態のある間は障害基礎年金が支給されます。

③遺族基礎年金 — 国民年金加入中に亡くなったとき

国民年金加入者が亡くなったとき、生計を維持されていた「子のある配偶者」または「子」に支給されます。

年金 種別	支給年額（基本額）	
	昭和31年4月1日以前生まれの方	
老齢	847,300 円	844,900 円
障害	1級 1,059,125 円 + 子の加算	1級 1,056,125 円 + 子の加算
	2級 847,300 円 + 子の加算	2級 844,900 円 + 子の加算
遺族	847,300 円 + 子の加算	844,900 円 + 子の加算

「子の加算」とは 障害基礎年金・遺族基礎年金を受けている方に、生計を維持されている子（18歳到達年度の末日までの子か20歳未満の障がいのある子）が居る場合は、次の額が加算されます。

▼加算額（年額・一人につき）

- ・1人目および2人目の子 243,800 円
- ・3人目の子以降 81,300 円

募集

除雪サービスの 有償ボランティアを募集！

比布町除雪サービス（出入口や家屋根、物置屋根、軒下除雪）にご協力いただける有償ボランティアを募集します。皆さまの力をぜひ地域の支え合いにお貸しください。詳しくは、10月発行の社協だよりをご覧ください。

問 社会福祉協議会 ☎ 85-2943

旭川弁護士会による 巡回無料法律相談

弁護士が身近に居ない地域の皆さんに向け、「巡回無料法律相談」を実施します。あなたの悩みは法律で解決できることかもしれません。相談は無料ですが、事前予約が必要です。

日 10月20日(火)午後1時～4時

所 福祉会館第4研修室

申問 役場税務住民課 税務住民室
環境生活係

ご家族・ご親戚に お声がけください

東京都で開催される旭川たいせつ圏域移住フェア2026に比布町を含む管内中央部1市7町が参加します。

相談ブースや移住セミナーなど、大雪圏域のたくさんの魅力を発信する予定です。

Uターン・Iターンのご相談も受け付けますので、東京圏域にお住まいの家族や親戚、お知り合いにもぜひ、お声がけください。

日 10月18日(日)午前10時～午後4時

所 東京都交通会館3Fグリーンルーム

問 役場総務企画課 総合政策室

政策係



「里親制度」のご案内

さまざまな事情で、家庭で暮らせないお子さんがいます。

そうしたお子さんを一時的に一般家庭で養育していただくのが「里親制度」です。愛情をもってお子さんを育てていただける方で、基準を満たす方であれば、特別な資格は必要ありません。

数日から年単位まで養育をお願いすることがあり、その間のお子さんの生活費は公費負担で、里親さんには手当が支給されます。

里親について知りたい方、里親を希望される方は、お気軽に児童相談所へご連絡ください。

問 北海道旭川児童相談所

☎ 23-8195

旭川比布同郷会 総会・懇親会開催

9月13日、旭川比布同郷会総会・懇親会が旭川市で開催され、会員ら約87人が集いました。本町からは村中町長・佐藤町議会議長・大西JAぴっぷ町組合長・荒尾比布商工会名誉会長ら来賓と、町民・札幌比布会・東京比布会員も参加し、にぎやかな雰囲気の中で懇親を深めました。

JAぴっぷ町の地酒「必富」で乾杯した後、近況報告や思い出話に花を咲かせ、お楽しみ抽選会や故郷・比布中央学校校歌(比布中学校校歌)の合唱も行われ、会場は笑顔に包まれました。



みんなチェック! 最低賃金。

北海道最低賃金

北海道内の事業場で働く全ての労働者(会社員・パート・アルバイト・学生など働く全ての人)およびその使用者に適用される北海道最低賃金が、次のとおり改定されました。

最低賃金額 時間額 **1,131円**

効力発生日 令和8年10月1日

厚生労働省 北海道労働局 労働基準監督署(支署)

申請はお済でしょうか?

申請
受付中



対 5月1日時点の道内の全世帯主

内 アプリ申請: 道民ポイント5,500円相当

郵送申請: JCBギフトカード5,000円相当

申請期限 11月16日(月)

問 利用者専用コールセンター

☎ 0120-842-076

求人募集

求人情報の掲載について

問 商工観光課 商工観光振興室 商工労働係

■ドライバー (パート)

NPO 法人フレンズ

基線4号 ☎ 85-3722

■ホールスタッフ (正職員)

株式会社荒尾

中町2丁目 ☎ 85-2142

■宿泊施設フロント (正職員)

株式会社荒尾

中町2丁目 ☎ 85-2142

■ホール・調理スタッフ (パート)

株式会社ノウリエ

北3線10号 ☎ 76-9216

■農作業スタッフ (季節雇用) (パート)

株式会社ノウリエ

北3線10号 ☎ 090-6212-3672

■鉄骨建築作業員 (正職員)

株式会社コタニ工業

基線4号 ☎ 54-1555

■売場スタッフ (パート) (アルバイト)

セイコーマート比布新町店

新町2丁目 ☎ 85-2881

■作業スタッフ (パート)

有限会社遠藤農産

北1線8号 ☎ 85-2193

■タクシー乗務員 (正社員)

旭川合同自動車株式会社

旭川市大雪通9丁目 ☎ 24-2211

■ホテルスタッフ (正社員) (パート)

野口観光マネジメント株式会社

上川町層雲峡温泉 ☎ 0570-026572

■作業スタッフ (パート) (アルバイト)

茂田石油株式会社

当麻町宇園別1区 ☎ 58-8123

■電気工事作業員 (正職員) (アルバイト)

山崎電機株式会社

愛別町字南町13番 ☎ 01658-6-5323

■冬期除雪作業員 (季節雇用)

北海道旅客鉄道株式会社

旭川市永山1条19丁目 ☎ 080-2187-5551

詳しい募集内容は
町ホームページ
「事業所の求人情報」
(商工観光課)



求人募集情報は、①町図書館②農村環境改善センター③比布駅④旭川信金比布支店で掲示しているほか、⑤町ホームページにも掲載しています。



コミュニティ・スクール通信

Community School 略称 CS | 比布町学校運営協議会



問 教育委員会教育課学校教育支援室学校教育係

地域とともに育てる 比布の子どもたち

比布町では、学校・家庭・地域が力を合わせて子どもたちの成長を支える「コミュニティ・スクール」を導入しています。その中心となるのが、地域住民や保護者などで構成される「学校運営協議会（合田浩幸会長）」です。

令和8年7月21日に開催された協議会で会員の皆さんから話された内容の一部を9月号に続き紹介します。

1学期の子どもたちの様子について 会員の皆さんが感想を述べました

▼異学年交流

縦割り班活動などの異学年での交流が「やさしさの成長」や「安心のつながり」を生んでいると感じる。

▼スマホのモラル

スマートフォンを使用する際のモラルや使い方、トラブルなどは、機器を与えた親がしっかりと責任を持ってほしい。

▼親の役目

人に迷惑をかけないことが大切であり、それを伝えていくのが親の役目だと思う。

▼地域の役割

地域に住む全員がお互いに笑顔で接することのできる関係をつくるのが大切である。



コミュニティ・スクールの様子

塩糰作りワークショップ開催！

▼塩糰作りワークショップ

昔ながらの知恵「塩糰」を一から仕込み、味わうワークショップです。仕込んだ後は、塩糰を使ったやさしいお昼ご飯を用意しています。

講師 谷 桃子さん

日 10月24日(土) 午前10時～12時

所 うれしば保育園ぴっぷ

対 比布町民（3歳以上から参加可能）

¥ 1,500円

定 5組

内 塩糰づくり

持ち物 エプロン・三角巾



問 うれしば保育園ぴっぷ ☎ 74-5151

参加申し込みは
Instagram
公式アカウントから



@urespappu

- うれしば保育園ぴっぷ -



ぴっぷちょう としょかん

ぶっくんノート

問 比布町図書館 ☎ 85-3354

開館時間 午前 10 時～午後 6 時（土・日曜日は午後 5 時まで）

休館日 10 月 1～12・19・26・28 日

※休館日に本を返す時は、図書館入口右にある「本の返却ポスト」に入れてください。

図書館改装工事に伴う休館について

町複合庁舎建設に伴う図書館改装工事のため、10 月 12 日(月)まで図書館を休館しています。皆さんにはご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、10 月 13 日(火)以降は、館内のレイアウトが一部変更となりますので、あらかじめご了承ください。

休館期間 9 月 21 日(月)～10 月 12 日(月)

鋼鉄のレガシー

堂場 瞬一／著

捜査一課の若手刑事・日下啓太は、8 年前に失踪した元代議士再捜索の特捜チーム参加を命じられる。日下が沖田大輝と組んで捜査を開始した直後、若い女性の誘拐事案が勃発する。容疑者の名は鳴沢了、伝説の刑事だった…。



はじまりのスープ、夏ゼリー

瀬尾 まいこ／著

中森リリーは飲食店でバイトをして暮らしている 26 歳。ある日、料理コンテストで出会った男にスープを作ったところ、突然泣かれてしまって…。誰かごはんを食べたくなる、やさしさに満ちた物語。



北海道地図わくわくえほん

堀川 真／文・絵

北海道各地方の特産物、山、川、湖、植物、動物、方言など、楽しくてためになる情報もりだくさん。子どもから大人まで家族みんなで楽しめる地図絵本。



こどものひろばとは

入園前の親子を対象に、遊びの経験や育児情報の提供、保護者同士の交流を目的としています。親子のふれあい遊びや感覚遊びも取り入れています。【予約不要】

【開催日】

月・水・金曜日：午前 9 時～正午
午後 1 時～3 時
火・木曜日：午前 9 時～正午

子育て相談

子育て相談員が、育児に関する心配事などをお聞きします。町内の子育て家庭が対象で、保育園・児童クラブ・自宅など希望の場所で対応可能です。電話や LINE 相談も OK。内容に応じて保健師や栄養士も対応します。

子育て支援センター
公式 LINE アカウント▶



今月の行事

- 5 日(月)「親子応援講座」 講師：助産院まぐのりあ 笹川 朝子さん
産後ケア、産後の生活、子どもとの関わり方についてのお話です。
- 9 日(金)「座談会」「保育園入園説明会」
ママ同士の情報交換と保育園の入園説明をします。
- 14 日(水)「白寿大学との交流会」
改善センター 2 階でミニミニ縁日を行います。
また、町民文化祭の作品作りも行います。
- 21 日(水)「すくすく子育て講座」 子ども富貴堂 山本公美さん
- 30 日(金)「ハロウィンパーティー」
みんなでハロウィンパーティーを楽しみましょう。

こどものひろば

問 子育て支援センター ☎ 85-2555

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 記入日	3
4	5 ★	6	7 ほっぺ 午後お休み	8 相談日	9 ★	10
11	12 スポーツの日	13 お休み	14 改善センターで こどものひろば	15	16 お休み	17
18	19 記入日	20 相談日	21 ★	22 壁画	23 午後お休み	24
25	26	27	28 きらら いちご	29 幼児健診	30 ★	31

ほっぺ 0 歳児 相談日 相談支援日(午後) 壁画 壁画制作
きらら 1 歳児 記入日 ファイル記入日
いちご 2 歳児 ★ 今月の行事

10 月のカレンダー



地域包括支援センターは高齢者の相談窓口です

問 地域包括支援センター
(役場保健福祉課内)
☎ 85-2112

健康のための「ピピリハ体操のススメ」 ～指導士さんへインタビュー～

町で活動しているピピリハ体操指導士の吉田智恵子さんに行ったインタビューをご紹介します。



ピピリハ体操指導士（シルバーリハビリ体操士）

吉田 智恵子 さん

令和2年度にリハビリ体操指導士の資格を取得。現在、新町のレトロリハビリ体操教室で活動を行っています。また体操以外にも、ミニバレーやパークゴルフ等、常に身体を動かし、体力づくりを行っています。

01

Q 指導者になったきっかけを教えてください。

A 新聞でシルバーリハビリ体操指導士養成講習会の案内を見て、自身の今後のことも考え、自分でケアができたらと思ったのがきっかけです。

02

Q リハビリ体操を行い、日常生活の中で変化はありましたか？

A 姿勢を気にするようになりました。リハビリ体操を始めてから、立ち上がり動作の姿勢や歩行姿勢などに気をつけています。また夏の畑作業、冬の雪かきなどを行う動作で、右手を使ったら次は左手と偏らないように意識しながら日常生活を送っています。

03

Q サロン等で活動（ピピリハ体操）を行い、嬉しかったこと（喜びを感じることは何ですか？

A 毎月1回金曜日に開催されているレッツ・リハ体操に、レトロリハビリ体操教室（新町）の参加者さんが参加してくれたことがとても嬉しかったです。レトロリハビリ体操教室が始まって秋で5年が経ちます。場所をお借りしているオーナーさんには本当にお世話

になり、また一緒に指導を行っているスタッフの方も協力してくれて心から感謝しています。

04

Q リハビリ体操に興味のある方へメッセージをお願いします。

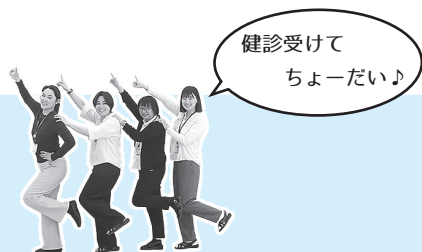
A 動ける60～70代の方は家の中だけにずっといるのはまだまだもったいないと思います。リハビリ体操で体も心も動かし、エネルギーに過ごしましょう！！



サロンの様子

保健センター通信

ホケセンだより



問 保健センター
☎ 85-2555

つながる、お口の健康と全身の健康

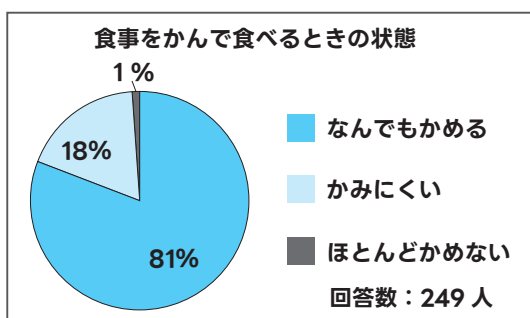
■歯のお悩み、ありませんか？

歯の痛みや歯ぐきからの出血だけでなく、「食べ物が噛みにくい」と感じることはありませんか？こうしたお口の変化は、だれにでも起こる可能性があります。歯や歯ぐきの変化をそのままにすると、全身の健康にも影響することがあります。日ごろからお口の健康を守ることが大切です。

健診を受けた方 **5人に1人** が
食べ物が噛みにくいと答えています。



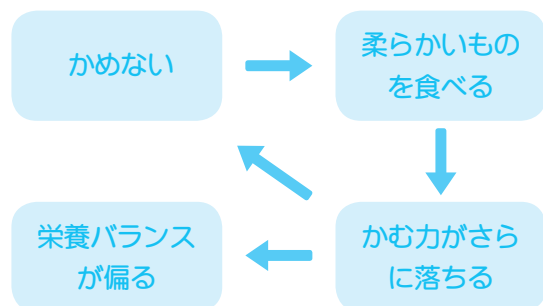
出典：令和7年度比布町特定健診問診票より



■歯の健康は全身の健康につながります

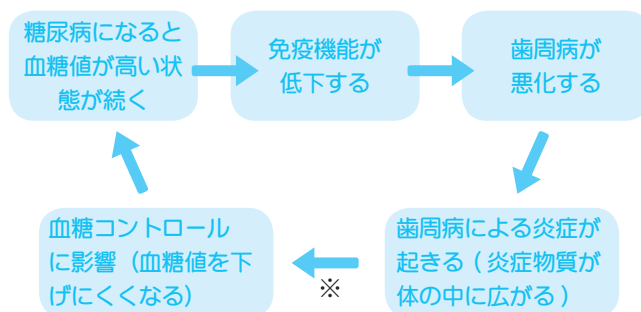
歯を失う原因の多くは、むし歯と歯周病です。

【①歯を失うと、食生活に影響します。】



栄養バランスが偏ると、筋力の低下や生活習慣病の発症・悪化につながります。

【②歯周病と糖尿病はお互いに影響し合います】



※炎症物質が入ることで、血糖値を下げるホルモン（インスリン）の働きを邪魔します。

■歯を守る合言葉「よ・い・歯」

よ よい食事
バランスの良い食事で、歯や歯茎を健康に保つために必要な栄養をとりましょう。

い いつものはみがきにプラス
むし歯や歯周病の原因となる歯垢（プラーク）は歯の隙間にたまりやすいです。いつものはみがきにプラスして、フロスや歯間ブラシを使いましょう。

歯 歯科健診を受けよう
自覚症状がなくても、半年に1回を目安に歯科健診を受け、歯や歯ぐきの状態をチェックしましょう。むし歯や歯周病の早期発見・治療につながります。



■比布町 歯科健診事業

対象 40、50、60、70歳の比布町民の方

場所 越智歯科医院

自己負担 1,000円

健診で分かること

- ① むし歯、歯周病の早期発見
 - ② 歯ぐきの状態の確認
 - ③ お口のクリーニングアドバイス
- 対象年齢の方には春に案内と受診票をお送りしています。

※対象年齢以外の方も、ご自身で歯科医院を受診し定期的にお口の健康をチェックしましょう。

スマイルシニア

好きなことを、いつまでも。

碓井 利子さん (新町在住)



「油が切れてくると、油を差してってミシンが言うんだよ」。そう笑う碓井利子さん (87 歳) が愛用するのは、母親から受け継いだ昭和初期のミシンです。

10 歳ごろから使い始め、18 歳で旭川市永山の洋裁学校に

ぜひ取材してほしいという方がいましたら、情報をお寄せください。

問 総務企画課総合政策室まち発信係

通った碓井さん。今も月に 20 日ほどミシンに向かい、服にラインや別の布を加えたり、壊れたファスナーをボタンに替えたりして、自分らしく仕立て直しています。油を差し、ベルトを替えながら、約 100 年にわたり親子で使い続けてきた大切な 1 台です。元気に年齢を重ねる秘訣を尋ねると、「趣味とか、好きなものを続けると長生きするね。」ミシンとの会話を楽しみながら、今日も軽やかに針を進めます。



生活・仕事巡回相談会

仕事やお金、家族、人間関係など、暮らしに関する悩みごと、困りごとについての相談を受け付けています。事前予約制です。

相談日 10 月 15 日(木)

時間 ①午後 1 時～1 時 50 分

②午後 2 時～2 時 50 分

場所 福祉会館第 4 研修室

定員 ①②各 1 人

申込方法 相談日前日の午後 3 時までに電話、FAX、メールで申込

相談料 無料

申し込み・問い合わせ先

かみかわ生活あんしんセンター

☎ 38-8800 FAX 33-0021

✉ anshin@kamikawa19.hokkaido.jp

きたよん通信

上川中部基幹相談支援センター「きたよん」

当麻町 3 条東 2 丁目 11-1 ☑当麻町役場庁舎内)

☎ 84-7111 FAX 84-7333 kitayon@potato.ne.jp

開設時間 月～金曜日(祝日を除く) 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

障がい者虐待防止センター専用電話 (24 時間対応) ☎ 84-7222



●きたよん相談会のご案内

障がいのある方や不安を抱えている方、自分のこと、家族のことなど、きたよんの相談員が対応し、4 町内(当麻町・比布町・愛別町・上川町)にお住まいの方、ご家族、関係機関の方がご利用できます。予約は必要ありません。当日、会場にお越しください。

日時

10 月 27 日(火) 比布 福祉会館

11 月 24 日(火) 愛別 総合センター

12 月 22 日(火) 上川 かみんぐホール

時間はいずれも午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分です。

●だれもが暮らしやすい地域づくり研修会

～知ってほしい。私の暮らし～

当事者の方から、生活のなかで感じていることをお話していただきます。障がいのこと、暮らしやすい地域について一緒に考えてみませんか。お気軽にご参加ください。

日時 11 月 5 日(木)

午後 1 時 30 分～3 時

会場 農村環境改善センター

きたよん サロン

障がいのある方や家族が交流できる場として、月 1 回開催しています。

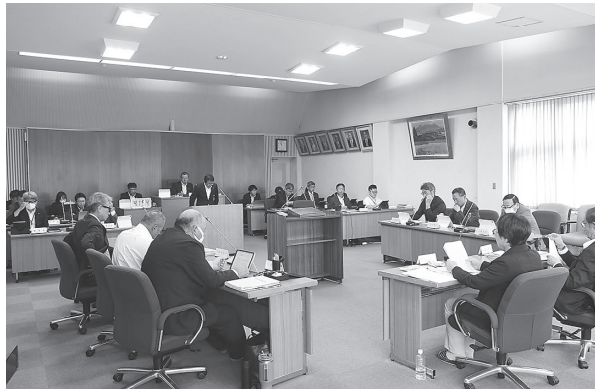
日時 10 月 21 日(水)

午後 3 時～

場所 図書館

問い合わせ

役場保健福祉課 社会福祉室 福祉係
上川中部基幹相談支援センター「きたよん」



町長行政一般報告

諸工事の発注及び進捗状況

令和8年度諸工事の発注状況は、別表をご覧ください。

観光施設の利用状況

グリーンパークびつぷについては、4月25日のオープン以降、順調に営業を行っていましたが、熊の出没により7月1日から7月7日までの7日間及び8月19日から8月25日までの同じく7日間、臨時休業する措置をとりました。

来場者の安全確保のため、やむを得ない休業と考えますが、予定されていたパークゴルフの団体利用を中止しました。キャンプ場も多く予約をいただいていたましたが、キャンセルをお願いし、キャンプイベントも中止するなど、大きな影響がありました。

8月31日現在のパークゴルフ場の利用者は、昨年より331人少ない2,886人で、収入は89万1千円となり前年同期より21万1千円少ない80.8%となっています。

キャンプ場については、週末は家族での利用を中心に大変賑わっていて、利用者は昨年より197人多い1,306人で収入は63万4千円となり前年同期より10万5千円多い119.9%となっています。

残りのシーズンも引き続きコースや施設管理の徹底と、今後の大会等の円滑な運営に努め、天候上可能であれば例年どおり11月上旬頃まで営業し、

利用者の増加につなげます。

遊湯びつぷは、8月末までの入館者数は39,782人で、対前年比114.0%となりました。

前年に対して増加していますが、昨年はグリーンパークびつぷの臨時休業に加え、衛生機器の点検整備のため、大浴場の利用を一部制限したことによる日帰り入浴者数の大幅減が影響しており、例年比では、入浴者数は横ばいで宿泊者数は微減傾向で推移しています。

日帰り宴会や休憩室など、飲食を伴う利用については増加傾向となっていますので、今後、営業活動を強化するなど指定管理者とともに更なる集客に努めます。

農作物の生育状況

上川総合振興局が発表した9月1日現在の生育状況では、水稲は平年より3日早く進んでいます。

町内では9月1日から稲刈り作業が始まり、農協ファースファクトリーは、9月4日から受け入れを開始しています。

収穫作業期間中は、作業に適した天候が続くことを期待し、各農作物に被害がなく、良質で豊かな出来秋となることを願います。

また、8月下旬からの降雨などにより倒伏した稲が見受けられますので、農作業事故が起きないように、皆さんの安全を願います。



教育行政一般報告

学校教育活動

学校は8月20日から2学期が始まりましたが、28日間の夏休みは事故もなく、子どもたちは元気に過ごしたようです。2学期も学校行事や教育活動を通し、経験や体験を多く積んで、たくましい成長を願っています。

後期課程の中学生は、6月19日・20日に地区大会、7月3日・4日に上川代表決定戦が行われました。野球・卓球・ソフトテニス・バスケットボール・剣道のそれぞれの種目で全力で試合に臨んでいました。

すでに地域展開されている剣道少年団は、女子団体が15年ぶりに管内優勝を遂

第3回町議会定例会 行政報告

別表 諸工事の発注状況 (令和8年5月30日から8月28日まで)
(単位: 円)

工事名および工事の内容	請負業者	請負金額
北2丁目道路改良工事 道路改良 延長: 230 m	(株)新見産業	64,570,000
保育園歩道横舗装工事 舗装工事 面積: 124 m ²	(株)道北舗道	2,200,000
町道維持補修 (8工区) 工事 道路法面補修 1箇所	(株)新見産業	284,900
太田山団地道路改良工事 道路改良 延長: 35.5 m	(株)新見産業	2,640,000
北10線道路排水路整備工事 排水樹清掃 1箇所	(株)新見産業	341,000
消火栓設置工事 消火栓設置 2基	(株)辻キカイ	3,520,000
水道メーター器取替工事 水道メーター器取替 158基	(株)岩城設備	3,960,000
蘭留北10線橋仮設配水管撤去工事 仮設橋添架管撤去 延長: 19.95m ほか	(株)岩城設備	2,970,000
比布中央学校体育館遮光カーテン取付工事 比布中央学校体育館遮光カーテン取付	(株)水野工務店	2,860,000

比布中央学校の視察

7月8日に釧路町議会産

げ、女子個人では、8年生・上田稟さんが準優勝し、その後行われた全道大会で大いに健闘しました。
女子バレーボールクラブ「ALBAIZE(アルバライズ)」所属の8年生・丸山聖奈さんと巻あおいさんも見事、管内優勝を遂げ、全道大会に出場し、大いに健闘しました。

教育委員会の主な事業

夏休みの思い出づくりの

業文教常任委員の皆さん、9月3日に上川町教育委員会・学校管理職の皆さんが視察に来られました。
義務教育学校に至る経緯や現状、課題について説明した後、校長・教頭から義務教育活動の利点を生かした教育活動の紹介と校舎内を案内しました。

令和8年第3回町議会定例会が9月8日に招集され、町長および教育長から行政一般報告がされました。概要をお知らせします。



一環として、8月4日から7日まで「まなび場ぴっぷ」を開催し、児童生徒延べ96人が参加しました。
今年度は、夏休み後半に実現したいこととして探究とプレゼンテーションを行い、魅力的な提案をした3つの個人やチームが、運営会社の株式会社エルワから資金の補助を受け、提案を実現

子どもたちの活躍

剣道少年団の6年生・佐藤日咲さん、成田奏さん、廣瀬衣麻さんは、7月28日に東京都日本武道館で開催された「第60回全国道場少年剣道大会」小学生の部に出場し、大いに健闘しました。
させていました。
いずれも自分の課題と捉えていることに対し、挑戦して乗り越えたいという思いを探究して提案する意義深い事業となりました。

翌日には、同大会の中学生の部に7年生・中野紗和さん、8年生・青木結愛さんが出場し、こちらも大健闘でした。
レスリングでは、9年生・寒河江冨六さんが、国民スポーツ大会の高校生も出場する「少年の部」の北海道予選で、中学生としては史上初めて優勝し、10月12日から青森県で開催される国民スポーツ大会への出場を決めています。

比布将棋倶楽部ジュニアの9年生・梅澤満喜さんは、8月1日、北海道ジュニア竜王戦で優勝し、その後行われた北陸ジュニア竜王との対戦でも勝利して「北海道・北陸ジュニア竜王」の称号を手にするなど、日本有数のジュニア棋士として大活躍しています。

◎町から提案した主な議案
○教育委員会委員の任命について

他8件

各団体や大会主催者様から提供いただいた、スポーツや文化活動などの話題を紹介します。皆さんからの情報をお待ちしています。

○内の数字は順位(敬称略)。町内関係者のみ掲載



みんなが ヒーロー&ヒロイン

9月24日現在

野球(つづき)

◆開陽台視界 330 度少年大会

(9月13～14日・中標津町)



②旭川ファミリー(久保光汰朗・堀江逞大・進藤皐綺)

陸上

◆全日本中学校通信競技大会

(6月20日・旭川市)

【個人】▷100m女子②久保里亜那



◆旭川ジュニア競技選手権大会

(8月23日・旭川市)

【個人】▷200m中学女子②久保里亜那

【団体】▷4×100mリレー中学女子③RyukokuAC(久保里亜那)

祝全道大会出場権獲得

剣道

◆西部北海道優勝大会

(9月6日・留萌市)



【団体】▷小学生高学年②比布(青木理音・廣瀬衣麻・上田星・佐藤日咲)▷中学生女子②比布(中野紗和・上田稟・夏井みいな)

ソフトボール

◆全町ソフトボール大会

(8月30日・びっぶ球場)



【A級】①TEAM GREEN(奥野薫・宮田正人・樋口一夫・細野正彦・佐藤広康・松岡信宏・高田敦志・小林凌・鈴木結貴・山本一騎・合田一広・齋藤大登・宮野倅気)②北町③アグリーズ

【B級】①寿町A(植村勇・中田茂利・有田雅彦・佐藤道幸・奥山修・三浦一路・村中一徳・高田安利・黒瀬祐一・堀江正貴・堀江徠快・奥山智貴・前田泰輔)②寿町B③中町

野球

◆高木スポーツ旗争奪中学校新人戦大会

(8月22日・旭川市)

②比布・上川・愛別・当麻・鷹栖合同チーム(久保里亜那)



◆星野伸之旗争奪少年大会

(9月5～12日・旭川市・当麻町)

②比布・上川・愛別合同チーム(池田夕陽・岩渕剛大・合田隼人・進藤蒼樹・久保田和匠・石附高虎)



ソフトテニス

◆旭川信金杯小学生大会

(8月22日・旭川市)

【ダブルス】▷4年生以下男子②大泉慧▷5・6年生女子①大泉花実▷4年生以下女子③稲場凰花

◆ゴーセン杯全道小学生当麻大会

(8月23日・当麻町)

【ダブルス】▷5年生女子③大石胡花・中野稀映

◆KENKO CUP

(8月30日・旭川市)

▷女子①西木戸心(旭川明成)



◆北海道小学生シングルス選手権

(9月14日・美瑛市)

【シングルス】▷5年生以下女子③大石胡花



◆全道小・中学生静内大会

(9月6日・新ひだか町)

【ダブルス】▷3年生以下女子③稲場凰花

◆秋季加盟団体戦

(9月6日・旭川市)

【団体】▷女子③旭川明成(平尾紅葉・西木戸心)

◆旭川市民体育大会

(9月13日・旭川市)

【ダブルス】▷女子①平尾紅葉・西木戸心(旭川明成)



バレーボール

◆全道フェスティバル苫小牧大会

(8月19～20日・苫小牧市)

【女子】①ALBALIZE A (巻あおい・丸山聖奈)

最優秀選手 巻あおい

優秀選手 丸山聖奈

◆ミカサ杯 (8月29～30日・旭川市)

【女子】①ALBALIZE (巻あおい・丸山聖奈)

◆ミカサ杯争奪一般9人制大会

(8月30日・町体育館)

【男子】①PIPPU 紙風船 (工藤昌裕・齋藤雅幸)

弁論大会

◆比布中央学校後期課程弁論大会

(9月12日・同校)



最優秀賞 寒河江律

優秀賞 佐藤茜・大島いちか・大泉遼・西本凜・勝見萌衣

ピアノ

◆第17回ヨーロッパ国際コンクール in Japan 札幌地区本選

(9月20日・札幌市)

石山陽菜 合格

㊦全国大会参加資格獲得



ゴルフ

◆比布ゴルフクラブ8月例会

(8月26日・鷹栖町)

①高木俊介②丸田利則③吉田君子

◆比布ゴルフクラブ9月例会

(9月14日・東神楽町)

①野村修二②吉田君子③川向紀昭

パークゴルフ

◆道北親睦PG大会

(8月18日・グリーンパークぴっぷ)

【男性】③五十嵐義秋

◆比布パークゴルフ協会9月例会

(9月4日・百年記念公園)

①明田義治②五十嵐義秋③手代木修一

硬式テニス

◆北海道高校秋季大会旭川支部予選

(8月29～30日・旭川市)

【団体】▷女子③旭川西 (古川那奈)



まちある・記・フォトニュース

まちの話題や情報など、身近なニュースをまち発信係にお知らせください。



本紙上で紹介できなかった行事や写真は、facebook「まちある・記・フォトニュース」に掲載しています。



9.20

比布駅前が多くの来場者でにぎわう

ぴっぷ駅マルシェを開催。グルメやステージイベントなどで、比布駅前は多くの来場者でにぎわいました。最後には駅舎改築10周年記念の抽選会も実施しました。



9.6

介護を通して見つめる家族の時間

多目的ホールで女優杉田かおるさんによる、健康講演会・介護予防講演会を実施。母との20年にわたる介護経験を振り返り、家族と過ごす時間の大切さを語りました。



9.1

親子で体感 比布町の子育て環境

町内外の親子5組が町内の保育園や子育て支援センター、比布中央学校を巡り、施設の説明や普段の活動、授業を見学しながら、親子で比布町の子育て環境を体験しました。



8.31

甘み凝縮「ぴっぷメロン」収穫最盛期

町内の農園で「ぴっぷメロン」が収穫の最盛期を迎えました。今年は寒暖差に恵まれ、甘みと香りが凝縮。ふるさと納税の返礼品や各地のイベントでも大人気でした。

比布町公式 SNS

まちの情報を
もっと知りたい
あなたに！



LINE

町からのお知らせや、防災情報をお届け。



X

日々の出来事から、防災情報まで色々発信中。



facebook

町内の話題や、防災情報を随時お知らせ。



Instagram

比布町の「映える」風景や町の様子を投稿。

まちの人口

8月末現在（前月比）

総数 3,256 人（－9）

男性 1,547 人（－3）

女性 1,709 人（－6）

世帯数 1,708 世帯（－2）



戸籍のまだ

（9月10日までの届出）

お悔やみ申し上げます

（氏名・享年・行政区）

坂上 満さん 64 歳（寿町）

谷 フサ子さん 98 歳（東町）

山中 重光さん 84 歳（西町）

大西 勢一さん 86 歳（東町）

金山 直子さん 92 歳（7区）

誕生おめでとう

（あかちゃん・行政区・保護者）

山形 ^{みつは}光葉ちゃん（新町）

駿介さん・千織さん

石附 ^{うた}羽音ちゃん（9区）

良平さん・早紀さん

※了承をいただいた方のみ掲載しています。

10月の行事予定

8(木) 老人文化祭

9:00(予定) 農村環境改善センター（多目的ホール）

17(土) 比布中央学校前期課程学会

8:40 比布中央学校

18(日) 比布町長旗争奪少年野球大会

8:15 ぴっぷ球場ほか

子ども会秋季廃品回収

8:30 いちごアリーナ（各集積場所）

30(金) 町民文化祭作品展示 ～11月1日

9:00 町体育館

高齢者の集い

13:30 農村環境改善センター（多目的ホール）

11/1(日) 町民文化祭芸能発表

10:00(予定) 農村環境改善センター（多目的ホール）

比布ストロベリー杯将棋大会

10:00 町体育館



子ども会秋季廃品回収

※変更になる場合がありますので、無線放送・LINE などにご留意ください。

11月号は11月4日発行予定です